



会員数 18人

北九州プロバスケットボールクラブ月報

つながり

No. 231

令和7年9月号

2025. 9. 16

今年は例会場を飛び出して 暑気払い



例会場が使えないのが功を奏して8月は持ち出し例会となりました。暑気払いにふさわしく会場は観山荘別館です。開放感と、久しぶりのアルコールも手伝ってか宴会気分も爆上がりし、「春は隣の桜が綺麗なんですって」と会話も次第に大声になりました。勿論、お料理もおおいに堪能しました。

メインイベントのビンゴゲームは3枚も配られたビンゴカードに、このどれかが“ビンゴ！”だと期待は膨らみ、その数字は私のカードにはない！と苛立ち、最後はイヤだ！でも景品は残ってるよね？と不安に襲われて…翻弄されました。交流委員会のみなさんご苦労様でした。自分を失った人がいなかっただけでよかった。良かった。

楽しい時間が過ごせました。(植田)



8月例会報告

8月は例会場に使用している湖月堂が使えないため、例会・暑気払い共に観山荘別館で開催。柴村美和子、吉田秀子、古賀靖子会員3人の「お誕生日おめでとうございます」で始まりました。各委員会の報告と同好会の案内があり、今年も社会貢献活動として「ありがとう BOX」からの賛助金先を発表しました。到津の森公園の植樹(10月16日)と若松児童ホームへの賛助金、シニア応援団への応援金です。

暑気払い也大いに楽しむことができ、持ち出し例会も良いものです。(植田)

委員会活動報告

企画委員会

9月2日 6名出席

まだまだ暑い午後 5 時 30 分から湖月堂2階で開きました。9月例会卓話講師の作曲家 久保一郎氏の「昭和の歌を歌おう」の準備を確認し、10月卓話講師の北九州市立中央図書館館長 高松淳子氏のタイトルは「集う・癒し・繋がる図書館を目指して」に決定しました。それに関連してプロジェクター等の件を役員会に提案することになりました。続いて「11月記念例会」の卓話講師は小倉城竹あかり実行委員長の辻利之氏を推薦します。受付やショートスピーチの担当を確認、お引き受けください。次回の開催予定日を確認し、まだ暑い中散会しました。(吉田秀子)

交流委員会

9月9日 6名出席

暑気払いの反省。料理のタイミング良く、皆さんがゆっくりお話ししながら戴くことができました。またビンゴゲームは大いに盛り上がり、賞品をお土産として持って帰ってもらえたのが良かったです。ほかに、役員会で検討してもらいたい案件も数点でした。今後の課題として会員が全員参加してもらうには、どういった事が良いのか検討していきます。皆さん好きなメニューを選んで食事を終えて解散となりました。(柴村)

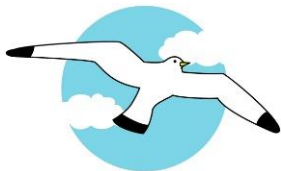
広報委員会

9月1日 3名出席

第一月曜日の午後 0 時 30 分から、ホテルテトラ北九州で定例の広報委員会を開催しました。9月になったと言うのにこの暑さ!!にめげない、元気な女性3名が頭を付き合わせて、つながり9月号の校正、10月号提稿メニューの確認をしました。特に時間を要したのが「Link26」の紙面整理でしたが、随想は皆さんのお陰で好発進となりました。各委員会や同好会の原稿等もう少し残っています。委員長さん、お世話役さんご協力のほどよろしくお願いします。(植田)

同好会活動報告

ワインを楽しむ会



以前はお盆を過ぎると夕刻には涼風を感じる日々がありましたが、最近連日最高気温 34℃の猛暑が続く8月24日午後 6 時からブラスリー・リップで第148回の会を開催。参加者は9名。

本日のワインはまず、イタリアのシチーリア白ワインで2ヶ月ぶりの開催と前日23日に世話役の古賀会員が卒寿を迎えたことを祝って、全員で乾杯発声。次いでフランスボルドーの赤ワイン、さらに最後はカリフォルニアの高級な赤ワインと世界を股に掛けた感のするワインで楽しみました。料理もマスターが腕に撚りをかけた美味のものです。全員楽しい会話が弾んだ会となりました。(古賀)

8月のお誕生日おめでとうございます (敬称略)



古賀 靖子(23 日)

卒寿おめでとうございます

まさにプロバスのレジェンド!!

吉田 秀子(16 日)

柴村美和子(13 日)

同好会活動報告

「歌をうたう会」から「コーロ リナート」へ

8月8日の午後3時から西小倉市民センターで練習開始です。しかしメンバー3名が役員で、その会議のため遠藤会員と私、内藤は待ちぼうけです。定刻をかなり過ぎて3名が登場し、これからの運営方針や世話役(内藤)を話合って決めました。新年度の1回目でもあり、会の名称変更を提案して”コーロ リナート”と決まりました。

リナートは再生・再出発という意味でピッタリ。場所も第1会議室に変わり、伴奏も電子ピアノになります。歌うことが好きな私たちは講師とともに、心を合わせて美しいハーモニーを奏で、豊かな日々を過ごしたいと思っています。(内藤)

食 美 会

8月22日午後0時30分から京町の魚マルシェで“夏の暑さを吹っ飛ばそうの集い”と銘打った食美会はゲストを含めて11名が参加しました。

いつもより少しお高めのコースだったせいか、刺身は勿論、小鉢が沢山でてきて嬉しい悲鳴でした。圧巻はテーブルの上で炊いた鯛飯、おいしさもですが、パフォーマンス的にも完璧でした。続く暑さを吹き飛ばすぞと誓って散会しました。(吉田秀子)

歴史文学講座

8月26日午前10時から、松本清張記念館でゲスト1名を含む8名の参加で開かれ、史学博士 廣崎篤夫先生による「島原沖田畷の戦い・龍造寺隆信の最期」のお話を聞いた。

前回は筑後の蒲池一族を皆殺しにした龍造寺隆信だったが、今回は、島津の援軍3000を加えた総勢5000の島原半島の有馬晴信が、総勢5万の隆信の大軍を迎え撃つお話。戦場は、一面の深田が広がる島原半島の沖田地区で、その中央に細い一本道があり、押し寄せてくる隆信の軍勢を有馬軍が山側と海側から狙い撃ちしたため総崩れ。島津の猛将が隆信の本陣に攻め込んで討ち取ったという。

隆信が没したあと、佐賀の実権は隆信の家臣だった鍋島が握っていくが、残酷非道な戦国動乱の様子を一気に語っていただいた。(松本)



「指先から旅をする」ピアニストに会いに

No.101 内藤康子

藤田真央ってピアニストをご存知でしょうか？ 最近は TV へも露出していますので、知っているよと言う方が多いかもしれません。彼は現在26歳でベルリンのハンス・アイスラー音楽大学で学びながら、欧州や日本で演奏活動を行っています。今年の北九州国際音楽祭にも、師事している大学の教授と一緒にピアノ連弾で初登場します。

真央君!を知ったのは、友人 F さんが彼の音色の美しさと音楽性に魅了され、周辺の人に大いなる PR をしたのが始まりでした。ある日私のスマホとパソコンに、彼の演奏する曲がどっさり送られて来ました。久しぶりにピアノを聞き感想をメールすると、次々と曲が届くという訳です。それに彼は文章も上手く、今「月刊文芸春秋」にエッセイを連載中で、「指先から旅をする」という単行本が出版されていて、これも郵送されてきました、読んでと…。F さんはお堅いタイプだと

思っていたのですが、目をキラキラ輝かせて真央君の話をする姿を見ていると、私も自然と口元が緩み、その情熱に引き込まれてしまったようです。

国内の数々のピアノコンクールで優勝した後、海外では 19 歳でスイスのクララハスキル国際ピアノコンクールで優勝、21歳の時、ロシアのチャイコフスキーコンクールでは 2 位となる等、若手ピアニストの 1 人として将来を嘱望されています。その彼のコンサートが堺市で開催されることを知り、聞きに行こうと同士を募ると、なんと 8 名が集まりました。9 月 27 日午後 2 時から、演奏されるピアノ曲にどっぷり浸かってまいります。



堺市は千利休や与謝野晶子の生誕の地でもあり、仁徳天皇陵古墳等の見所も多く、美味しい食べ物もあるのですが、今回はコンサートのみに絞り 1 泊 2 日の旅をする予定ですが、好奇心旺盛で美味しいもの大好きな集団だけに、何が起こりますか？ 期待と一抹の不安を覚えながら、その日が来るのを楽しみ待っています。

ありがとう BOX メッセージ 8 月分

(入会順、敬称略)

★久しぶりの観山荘別館でした(遠藤) ★楽しい会でした(神田) ★暑気払いを初めて観山荘別館で行いましたがやはりすばらしい(古賀) ★おいしかったです(吉田秀子) ★(松本) ★(植田) ★皆様のご協力で暑気払いの受付が、無事すみしました。ありがとうございました(内藤、新城) ★今年の夏も暑い、気を付けましょう(吉田信雄) ★暑気払いを楽しみました(柴村) ★暑気払い、皆さんとても楽しそうでした(藤原)

収支報告	令和7年7月末残高	79,509円
	北九州シニア応援団に応援金	－10,000円
	令和7年8月分	5,500円
	令和7年8月末残高	75,009円